

RAINBOW

NO. 94

松江市教育委員会学校教育課 松江市学校図書館支援センター TEL:55-5073 FAX:55-5251
<http://www1.city.matsue.shimane.jp/kyouiku/gakkou/>

木々の緑や花々の鮮やかさが楽しめる季節になりました。
授業で、あるいは休み時間に、季節の植物や生きもののことを図書館で調べている子どもたちの姿があると思います。

6月11日は「学校図書館の日」です。（「学校図書館法の一部を改正する法律」により、平成9年6月11日に司書教諭の配置（12学級以上）が義務化されたことを記念して、社団法人全国学校図書館協議会が制定）

年度初めには、校内図書館運営委員会などで司書教諭を中心に運営計画や指導計画について話し合われたことと思います。学校図書館のもつ力や子どもたちにとって使いやすく役に立つ図書館に整えていることを、今一度、教職員や子どもたちにアピールする機会にはいかがでしょうか。



R3年度 松江市学校図書館運営説明会を開催しました 4月20日(火)・22日(木)・23日(金) 於:松江市市民活動センター

学校図書館の円滑な運営や学校図書館活用教育の推進を目指していくために運営説明会を開き、学校図書館支援センター長をはじめ各担当者が「松江市が推進する学校図書館活用教育について」「松江市学校図書館支援センター事業について」説明を行いました。

この会の特徴は管理職と司書教諭、学校図書館担当教員、学校司書が同席して参加することにより、それぞれの立場での職務の確認や協働・連携について、共通認識をもつことができることです。各学校の学校図書館の運営が、計画的・組織的に行われることが期待できます。



成相センター長の挨拶の様子

松江市が推進する学校図書館活用教育

松江市では、読書を通じた豊かな心の育成とともに確かな学力の育成の基盤として、学校図書館活用教育の推進に取り組んでいます。学校図書館の「読書センター」「学習センター」「情報センター」という3つの機能のバランスを図り、児童生徒の主体的・対話的で深い学びを実現する学習指導や、自主的、自発的な読書活動の充実を目指します。

松江市学校図書館支援センター事業

学校図書館活用教育の推進に向け学校図書館の計画や運営、活用に関して、学校や公共図書館と連携を図り、学校図書館担当者への支援を行います。

○具体的な取組

◦研修会の開催（R3年度予定）

- ・学校図書館運営説明会
- ・学校図書館活用研修
- ・ブロック別研修
- ・授業支援（ICT）研修
- ・読書支援研修
- ・学校司書フォローアップ研修

◦学校訪問の実施

- ・計画訪問（新規雇用・異動学校司書配置校）
- ・申請訪問（希望する学校）

◦松江市小中一貫基本カリキュラム「学び方指導体系表」の活用の推進 ※図1

◦学校図書館に関するデータや情報の収集

- ・学校司書業務報告書
- ・各調査（国・県・市）

◦学校図書館に関する情報の提供

- ・校務GW（イントラネット）での情報共有 ※図2
- ・支援センターだより「RAINBOW」発行

◦読書活動や学習で活用する資料相談の対応

◦物流システムによる図書館蔵書相互活用の実施 ※図3

○支援センターのメンバー

- センター長（松江市教育委員会副教育長）
- 副センター長（学校教育課長）
- 学校教育課指導研修係 係長
- 指導主事
- 主任
- 教育指導講師
- 支援センタースタッフ

図1

【学校図書館活用教育】松江市小中一貫基本カリキュラム
「学び方指導体系表」～子どもたちの情報リテラシーを育てる

図2

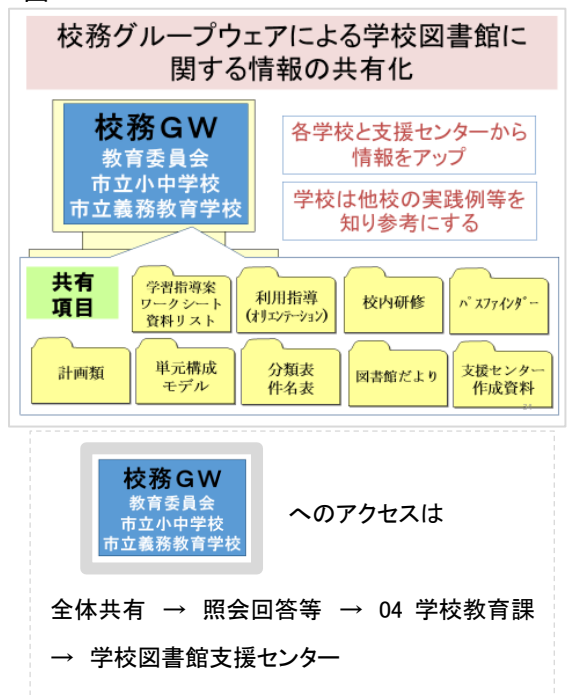
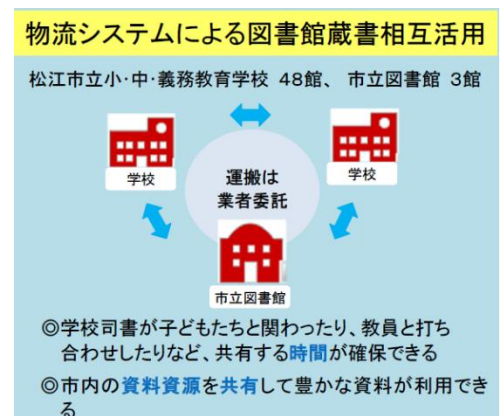


図3



松江市立島根小学校 子供の読書活動優秀実践校として文部科学大臣表彰を受賞

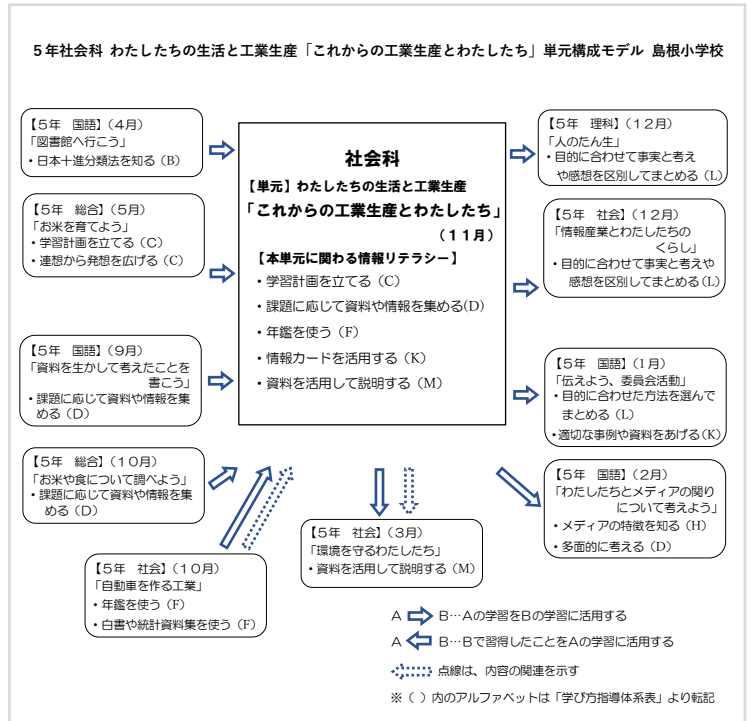
受賞おめでとうございます 文部科学省では、平成14年度から、国民の間に広く子供の読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子供が積極的に読書活動を行う意欲を高める活動を推進するため、特色ある優れた実践を行っている学校や図書館、団体・個人に対し、大臣表彰を行っています。

令和3年度の表彰校として、島根小学校が選ばれました。島根小学校は、「学校図書館を通して未来に向かって自ら学ぶ姿勢と豊かな心を育てる」を学校図書館活用教育の目標とし、校長のリーダーシップのもと司書教諭や学校司書、授業者が連携を取りながら目標達成のための取組が行われています。

主な取組として、「読書を通しての異学年交流や図書委員会による図書祭りなどにより、読書に親しみ楽しく幅広く読書する子供を育成すること」や、「教科横断的・系統的な情報リテラシーの育成について単元構成モデル等で研究・検証し、指導につなげていくこと」などが行われています。

年間指導計画や単元構成モデルは校務GW全体共有フォルダ（学校図書館支援センター）にUPしていますので参考にしてください。

月	国語 (○単元名・指導の工夫)	その他 (○単元名・指導の工夫)	情報を活用する学び方の指導計画
4	○図書館へ行こう	○世界の中国の国(社) ・国土に関する資料の準備	④日本十進分類表を知る ・請求記号の見方がわかる ⑤地球儀を使う
5	○物語の山場をとらえよう(世界で一番やみしい童話) ・関連図書のブックトーク ○意見と理由を聞き取る	○お米を育てよう(農) ○米作りのさかんな庄内平野(社) ・米作りに関する資料の準備	③学習計画を立てる ④連想から発想を広げる ⑤考えを正しに聞き取る
6	○書き手の意図を考えながら新聞を読もう(新聞記事を読み比べよう) ・違う新聞社の新聞の準備 ○立場を決めて討論をしよう	○魚のたん生(理) ・生命誕生に関する図書の準備	⑥題やキャプションを活用する ⑦書き手の意図を読み取る ・新聞の構成と写真の役割を知る ⑧新聞の一面の構成を知る ⑨立場や意図をはっきりさせて計画的に話し合う
7	○本は友達 ・ブックトーク		
8	○資料を生かして考えたことを書こう	○お米や食について調べよう(農) ○水産農産のさかんな静岡県(社) ・産業に関する図書の準備	⑩課題に応じて資料や情報を集める
9	○物語の良さを解説しよう(注文の多い料理店) ・宮沢賢治の本についてブックトーク	○自動車を作る工業(社) ・自動車に関する図書の準備	⑦年鑑を使う ・目次や索引を有効に使う ⑧白書や統計資料集を使う
10	○和の文化について調べよう ・和の文化に関する資料の紹介	○工業生産と工業地域・貿易(社) ・工業に関する図書の準備	⑪多面的に考える ⑫情報カードを活用する ⑬取捨選択、順序、構成を考える ⑭要旨をとらえる ⑮資料を活用して説明する ⑯参考資料一覧を知る ⑰奥付を見る
11	○伝記を読んで、感想文を書こう ・伝記の準備と紹介	○人のたん生(理) ○情報産業とわたしたちの暮らし(社) ・情報に関する図書の準備	①目的に合わせて事実と考えや感想を区別してまとめる
1	○古文に親しもう ・古文の本を紹介 ○伝えよう、委員会活動	○社会を変える情報・情報を生かすわたしたち	①目的に合わせて方法を選んでまとめる ②適切な事例や資料をあげる
2	○わたしたちとメディアの関わりについて(テレビとの付き合い方) ・メディアに関する図書の紹介 ○伝えよう、委員会活動	○わたしたちの生活と森林 ・森林に関する図書の準備	③メディアの特徴を知る ・リテラシーを身に付ける ④多面的に考える
3	○前読で発表しよう(大連じいさんとがん) ・橋下十作品のブックトーク	○環境を守るわたしたち ・環境に関する図書の準備	



図書館活用学習年間計画と単元構成モデルの一部

松江市教育委員会 校務 GW 全体共有フォルダ(学校図書館支援センター)を更新しました

校務GW全体共有フォルダ（学校図書館支援センター）を月末に更新（情報の追加）しています。学校図書館の運営や活用教育、読書指導等にお役立てください。

令和3年度5月末に追加したもの

- ・ 授業や読書活動で活用できる資料 中学校 道徳
- ・ 学校図書館活用教育全体計画
- ・ 学校図書館活用教育年間指導計画
- ・ 単元構成モデル
- ・ 学習指導案
小3 国語「パラリンピックが目指すもの」
小5 社会「自動車をつくる工業」

学校司書の活動や気づき 令和3年4月の学校司書業務報告書より

(各校の活動について、学校間で情報交換ができるように学校番号(運営説明会資料名簿番号)を文末に表記しています。)

●図書館オリエンテーションに関すること

- ・図書館オリエンテーションは担任が主体となって行った。共有フォルダに入れているオリエンテーション用のパワーポイントをもとに、担任それぞれがクラスの児童に合った内容にして指導することができた。学校司書は今年度用にパワーポイントを修正したり、授業補助や電子黒板等の機材準備をしたりした。(14)



●読書支援に関すること

- ・研修会の時の他校の学校司書の実践発表を参考にし、自校でも児童が学級で借りに来た際に、1、2冊本を紹介することにした。紹介した本はほとんど借りられたり、予約も入ったりし、紹介することの効果を実感した。(6)
- ・読書と子どもたちをつなぐために、できるだけ直接子どもたちに本を紹介したいと考えている。そこで、6年生に「ほっとひといき 肩の力をぬいて」というテーマで心和む本を紹介した。6年生になって忙しく活動している6年生が笑顔を見せながら聞いてくれたので嬉しく思った。今後も担任の先生と時間調整しながら、他の学年にも本の紹介をしていきたいと思う。(23)

●学習支援に関すること

- ・3年生理科「身の回りの生き物」と4年生理科「季節の生き物の様子」では、同じ時期に資料の利用が重なることも多い。授業する先生との事前打ち合わせや昨年度の利用状況を振り返ったことでスムーズに活用することができたので良かった。(10)
- ・中学3年生の社会「高まるデモクラシーの意義」で大正時代の出来事や人物について調べる学習を行った。事前に授業する先生と何度か打ち合わせをし、限られた資料数と授業時間ということもあり、必要な情報の掲載箇所付箋を貼るということまでの準備を行ったので、調べることができたようだ。授業の進行に合わせた準備をすることが大切だと思った。(41)



松江市立中央図書館 配本室より

(配本室には学校図書館支援センタースタッフが常駐し、各校からの資料依頼やレファレンスに対応しています。)

令和2年度に各校から送っていただいた資料の貸出をしています。希望される方は、支援センタースタッフまでご連絡ください。

図書館利用案内

図書館だより (児童生徒向・教職員向・保護者向)
資料リスト (おすすめの本・単元別・その他) など

